

日本熱帯農業学会・名古屋大学農学国際教育研究センター 合同セミナー  
**JSTA - ICREA Joint Seminar**

(JSTA 218<sup>th</sup> Study Meeting & ICREA 1<sup>st</sup> Open Seminar in AY2024)

2024. **11.20** (Wed) **16:30 – 18:00**

# サトウキビの形質開発と形質利用



**寶川 拓生 研究員**  
国際農林水産業研究センター  
熱帯・島嶼研究拠点



- 言語：日本語
- 開催形式：ハイブリッド
- 対面：名古屋大学農学部第11講義室
- オンライン：Zoom

参加希望の方は右上のQRコードから参加登録をお願いします。  
オンライン参加希望の方は、開催までにZoomのリンクをお送り  
します。



サトウキビを始めとする糖質資源作物は、過去から現代にいたるまで地域経済を支える重要な換金作物であり、糖質だけでなく繊維質を用いたエネルギー利用も可能です。講演者は、サトウキビの生産性改良のために、近縁遺伝資源を用いた形質開発、既存品種群の形質（多様性）利用に関する研究を実施しています。本セミナーでは、これまでの経験を基に、世界や日本のサトウキビ生産の現状と課題を論じ、課題解決のための道のりとして、形質開発や形質利用に関する国内外での取り組みを紹介いたします。サトウキビの研究対象としての面白さと難しさの共有を図りつつ、今後の研究に関する夢と希望を語ります。

■問い合わせ Contact■

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 農学国際教育研究センター  
International Center for Research and Education in Agriculture, Nagoya University  
TEL：052-789-4225 FAX：052-789-4222  
MAIL：icrea@agr.nagoya-u.ac.jp